

# ANNECY 2019

- TRIBUTE TO JAPANESE ANIMATION -

2019.6.10-6.15

Agency for Cultural Affairs,  
Government of Japan

TOKYO  
METROPOLITAN  
GOVERNMENT

ANNECY  
FESTIVAL

©Akino Kondoh



ANNECY 2019 10th-15th June 2019

# NEW MOTION

THE NEXT OF JAPANESE ANIMATION

アヌシー国際アニメーション映画祭2019  
日本アニメーション特集

PRESS RELEASE



# Annecy 2019

## - Tribute to Japanese Animation -

映画祭が毎年1か国に焦点を当て、その国の作品の上映のほかセミナーやワークショップ、展示など様々に展開されます。日本は1999年に第1回目の名誉国となり、今年20年ぶりに選ばれました。

### ◆企画テーマ

# NEW MOTION

## THE NEXT OF JAPANESE ANIMATION

### ◆企画主催

文化庁 東京都

### ◆総合ディレクター

岡本美津子（東京藝術大学 副学長）

### ◆協賛

凸版印刷株式会社/チョーヤ梅酒株式会社

### ◆協力

在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本  
CITIA

アヌシー城

東京藝術大学COI拠点/東京藝術大学大学院映像研究科  
公益財団法人ユニジャパン（予定）

### ◆企画意図

- **「人」** 今後のアニメーション界を担う期待のクリエイターを世界へ日本で活躍する30名以上もの新進気鋭のクリエイターたちを世界へ向けて紹介します。
- **「技術」** テクノロジーを活用したアニメーションの次のスタイルを提案ARやVR、AI\*など、クリエイター×テクノロジーによる新しい表現。アニメーションの近未来を世界にみせます。

\*AR=拡張現実 VR=バーチャルリアリティ AI=人工知能

日本のアニメーションの最新の動きを世界最大のフェスティバルで発表します。

# Annecy 2019

- Tribute to Japanese Animation -

## 企画ラインナップ

## NEW MOTION THE NEXT OF JAPANESE ANIMATION

### NEW MOTION Creator's File 2019

次世代を担う若手クリエイター26名の選出と登録。新進気鋭の作家の作品を中心に上映プログラムや展示を構成します。

### フェスティバル公式上映

日本のアニメーションの次世代を担う作家を紹介するプログラムを上映

- ・ NEW MOTION Short Films
- ・ NEW MOTION ~次世代のリーダーたち~
- ・ 和田淳特集
- ・ あにめたまご

### @アヌシー城 日本主催上映

AI×アニメーション×オーケストラ！新しいアニメーションの楽しみ方の提案など

- ・ ヴィヴァルディ「四季」ライブアニメーションコンサート
- ・ 「カリオストロの城」野外上映

### MIFA（見本市） ジャパンパビリオン

NEW MOTION作家の映像展示のほか、ARやVR、ゲームなどアニメーションの次の表現、また次世代を担う東京のプロダクションを紹介。日本を代表する作家の新作紹介も。

- ・ NEW MOTION 映像展示上映 26名
- ・ A to Gアニメーションからゲームを作るプロジェクト 3作品
- ・ Animation Tokyo 次世代を担う東京のプロダクション 12社（予定）
- ・ アニメNEXT\_100 122作品
- ・ 凸版印刷株式会社 VR新作展示
- ・ 新海誠×AR三兄弟 AR新作展示
- ・ 湯浅政明監督 新作紹介
- ・ 和田淳監督 拡張するアニメーションの世界 他
- ・ 「チコちゃんに叱られる！」 CG技術の紹介
- ・ リクルーティングカウンター

### MIFA CAMPUS

日本のトップクリエイターが学生や若いアーティストへ向けて、技術や将来のキャリアを作るためのノウハウを講義します。講師には日本を代表するアニメーターが登壇。

登壇：押山清高

### Animation Boot Camp

文化庁メディア芸術連携促進事業  
(協力:東京藝術大学大学院映像研究科)

日本のトップアニメーターによる作画ワークショップ。フランスの学生を対象に基礎的で最も重要な技術を日本独自のカリキュラムで教えます。

# Annecy 2019

## - Tribute to Japanese Animation -

### NEW MOTION Creator's File 2019

#### 次世代を担う若手クリエイター【26名】

NEW MOTION Creator's File2019 (ブックレット)へ登録。  
登録されたクリエイターの作品を中心に上映と展示を構成します。

- |                       |   |
|-----------------------|---|
| 1 Sarina Nihei        | 「Rabbit's Blood」 (短編)                   |
| 2 折笠良                 | 「Notre chambre」 (短編)                    |
| 3 水尻自子                | 「幕」 (短編)                                |
| 4 冠木佐和子               | 「えーん」 (短編)                              |
| 5 平岡政展                | 「L' CEil du Cyclone」 (短編)               |
| 6 ひらのりょう              | 「パラダイス」 (短編)                            |
| 7 Tao Tajima          | 「Waxing Moon」 (ミュージックビデオ)               |
| 8 牧野惇                 | 「戯言スピーカー」 (ミュージックビデオ)                   |
| 9 ユーフラテス (石川将也) + 阿部舜 | 「Layers Act」 (短編)                       |
| 10 大西景太               | 「ロックンロールマーチ」 (短編)                       |
| 11 薄羽涼彌               | 「見なれぬものたち」 (短編)                         |
| 12 板津匡覧               | 「みつあみの神様」 (短編)                          |
| 13 小林寛                | 「ひそねとまそたん」 (テレビ)                        |
| 14 内海紘子               | 「BANANA FISH」 (テレビ)                     |
| 15 押山清高               | 「スペース☆ダンディ「ビッグフィッシュはでっかいじゃんよ」」 (テレビ)    |
| 16 久野遥子               | 「Airy Me」 (短編)                          |
| 17 橋本麦                | 「imai - Fly ft. 79, Kaho Nakamura」 (短編) |
| 18 柴田大平               | 「がまんギリギリライン」 (短編)                       |
| 19 矢萩利幸               | 「PERSONA5-ペルソナ5-」 (ゲーム内アニメ)             |
| 20 中武哲也               | 「進撃の巨人」 (テレビ)                           |
| 21 佐藤広大               | 「えんぎもん」 (短編/若手アニメーター育成プロジェクト作品)         |
| 22 吉田健一               | 「ガンダム Gのレコンギスタ」 (テレビ)                   |
| 23 新井伸浩               | 「文豪ストレイドッグス DEAD APPLE」 (長編)            |
| 24 金子雄司               | 「キルラキル」 (テレビ)                           |
| 25 坂本サク               | 「アラーニエの虫籠」 (長編)                         |
| 26 近藤 聡乃              | 「てんとう虫のおとむらい」 (短編)                      |

【選定委員】 \* 敬称略  
・岡本美津子  
・山村浩二  
・土居伸彰  
・川村真司  
・石川光久  
・瀬谷新二  
・南雅彦



\*2018年パンフレット



\*2018年のMIFA Japan Booth展示



©TMC  
\*2018年の上映会場

# Annecy 2019

## – Tribute to Japanese Animation –

### フェスティバル公式上映

#### NEW MOTION Short Films

監督の他、アニメーターや作画監督を紹介するプログラム

アニメーションの表現の可能性を開拓する、次世代のクリエイターたちの作品を紹介。

独自の表現、新しいアイデアなどを持った実験的、野心的作品を作るクリエイターで構成しています。

- 1 Sarina Nihei 「Rabbit's Blood」
- 2 折笠良 「Notre chambre」
- 3 水尻自子 「幕」
- 4 冠木佐和子 「えーん」
- 5 平岡政展 「L' Œil du Cyclone」
- 6 ひらのりょう 「パラダイス」
- 7 Tao Tajima 「Waxing Moon」
- 8 牧野惇 「戯言スピーカー」
- 9 ユーフラテス（石川将也）＋阿部舜 「Layers Act」
- 10大西景太 「ロックンロールマーチ」
- 11薄羽涼彌 「見なれぬものたち」

#### NEW MOTION 次世代のリーダーたち

テレビシリーズを中心に、その監督を紹介するプログラム。

日本のアニメーションの将来を担うアニメーション監督とその作品を紹介。それぞれ、独自の表現をし、新しいチャレンジを行っています。

- 1 板津匡覧 「みつあみの神様」
- 2 小林寛 「ひそねとまそたん」
- 3 内海紘子 「BANANA FISH」
- 4 押山清高 「スペース☆ダンディ「ビッグフィッシュはでっかいじゃんよ」」

#### 和田淳特集

独自の世界を持つ和田淳監督のアニメーション作品を上映します。和田淳の舞台挨拶も予定しています。

- 1 「係」
- 2 「鼻の日」
- 3 「声が出てきた人」
- 4 「そういう眼鏡」
- 5 「わからないブタ」
- 6 「春のしくみ」
- 7 「グレートラビット」
- 8 「Anomalies」
- 9 「秋 アントニオ・ヴィヴァルディ「四季」より」

#### あにめたまご

日本の若手アニメーター育成プログラム。2018年および最新作2019年から3作品を上映します。

「えんぎもん」監督 佐藤広大による舞台挨拶も予定しています。

- 1 「えんぎもん」2018年
- 2 「Hello, WeGo」2019年
- 3 「チャックシメゾウ」2019年

# Annecy 2019

## - Tribute to Japanese Animation -

### 日本主催上映

アヌシー城でライブアニメーションコンサートや野外上映を行います。

### ヴィヴァルディ「四季」

### ライブアニメーションコンサート (協力：東京藝術大学COI拠点)

アンナ・ブダノヴァ、プリート&オルガ・パルン、和田淳、テオドル・ウシェフの4人の監督によるアニメーションとオーケストラ生演奏とのコラボレーションコンサート。NEW MOTIONとしてアニメーションの新しい楽しみ方を提案します。

ヤマハ株式会社と東京藝術大学が産学連携により開発した、**AIが映像を生演奏に合わせる世界初の技術**を使用しています。今年1月にロサンゼルスで開催したコンサートに続く**ヨーロッパプレミア**となります。

日時：2019年6月11日（火）19:00～  
会場：アヌシー城コンサートホール  
料金：無料  
定員：250名 \* 予定



監督：「春」アンナ・ブダノヴァ（ロシア）  
「夏」プリート&オルガ・パルン（エストニア）  
「秋」和田淳（日本）  
「冬」テオドル・ウシェフ（カナダ）

総合監修：山村浩二

\* 解説 岡本美津子/和田淳

### 「カリオストロの城」 野外上映

世界中で愛される名作をアヌシー城で野外上映します。

本作は今年1月に初めてフランスで劇場公開され、フランスの大手紙「ル・モンド」に「一種の理想的なエンターテイメントを実現している」と称賛されました。

監督：宮崎駿

日時：2019年6月10日（月）  
22:00～

会場：アヌシー城野外

料金：無料

定員：無し

\* 椅子やビニールシートを持参し、思い思いのスタイルで楽しむのがアヌシー城の野外上映。子供から大人まで気軽に参加できます。



©Tokyo University of the Arts



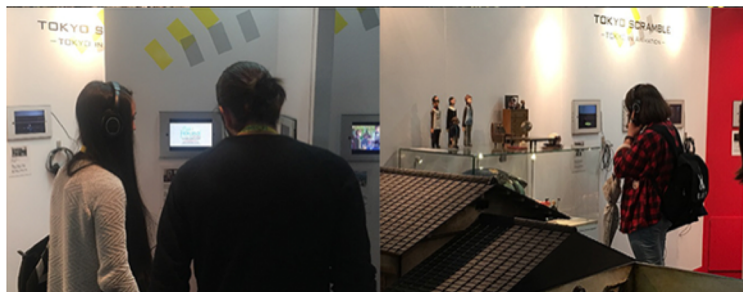
# Annecy 2019

## - Tribute to Japanese Animation -

### MIFA 展示

NEW MOTION作家の映像展示のほか、ARやVR、ゲームなどアニメーションの次の表現、また次世代を担うプロダクションを紹介。日本を代表する作家の新作紹介も。

- ◆ **New Motionクリエイターの作品**  
モニター展示上映 **【26名】**



- ◆ **A to Gアニメーションからゲームを作るプロジェクト**  
アニメーション作品をベースにゲームを作成。アニメーションの次の表現として紹介

「here AND there」小光、長岡愛子、木村優作

「怪獣縁起」 谷耀介、菊地咲、小楠竜也

「見なれぬ儀式」 薄羽涼哉



「怪獣縁起」 ©2018 Yosuke TAN

- ◆ **Animation Tokyo 次世代を担う東京のプロダクション**  
東京都の施策Animation Tokyoへ参加した中小企業を紹介。世界との共同製作やマーケット進出にむけて存在を発信します。

- ◆ **『アニメNEXT\_100』 展示上映**  
日本のアニメーション100周年記念として制作された、日本のアニメ史を代表する122作品のアニメーション映像からなる「『アニメNEXT\_100』スペシャルムービー」を展示上映。日本のアニメーションの歴史を紹介します。

- ◆ **VR展示（凸版印刷株式会社）**  
新人クリエイターKAORUとコラボレーションしたアニメーションVRを新規制作。MIFAで発表します。

- ◆ **メディア芸術祭から世界へ羽ばたいた監督』 紹介展示**  
メディア芸術祭で受賞し、世界を舞台に活躍する監督たちを紹介
  - ・ 湯浅政明（新作「きみと、波にのれたら」他 紹介）
  - ・ 和田淳（拡張するアニメーションの世界「My Exercise」 / 「私の沼」）
  - ・ 新海誠



「My Exercise」 © Atsushi Wada, New Dear 2018

- ◆ **新海誠✕AR三兄弟 新作展示**  
メディア芸術祭受賞作家 新海誠とAR三兄弟のコラボレーション。  
新しいアニメーション体験を提案する新作をMIFA会場で発表します。



©2016「君の名は。」製作委員会  
©AR三兄弟

- ◆ **第22回 メディア芸術祭 エンターテイメント部門 大賞受賞**  
「チコちゃんに叱られる！」 CG技術の紹介

- ◆ **リクルーティングカウンター**  
日本企業に就職を希望する外国人学生に向けカウンターを設置し、希望の企業へつなぐほか、アンケートデータをまとめ、次年度以降の活動に活用します。日本のアニメ制作現場のグローバル化に繋がります。

- ◆ **商談スペース**  
ブースを持っていない日本企業も使える商談スペースも設け、初めてMIFAに参加する企業も活動しやすい環境を整えます。



# Annecy 2019

## - Tribute to Japanese Animation -

### MIFA CAMPUS

日本のトップクリエイターが、スキルを持った学生や若いアーティストへ向けて、技術や将来のキャリアを作るためのノウハウを講義します。講師として日本を代表するアニメーター押山清高が登壇します。

- 日時 6月11日（火）9:00～11:00
- 登壇者 押山清高（アニメーター）
- テーマ 押山清高の添削教室 Break the Rule（仮）

### Animation Boot Camp

文化庁メディア芸術連携促進事業  
（協力：東京藝術大学大学院映像研究科）

日本のトップアニメーターによる作画ワークショップ。フランスの学生を対象に基礎的で最も重要な技術を日本独自のカリキュラムで教えます。

日時：2019年6月12日（水） 9:00～18:00（予定）

会場：Les Papeteries

講師：押山清高、りょーちも、板津匡覧

受講者：フランスの学生 20名

## Main Visual 紹介

近藤聡乃（こんどうあきの）

【Profile】1980年千葉県生まれ。2003年多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒業。2008年よりニューヨーク在住。漫画、アニメーション、油絵などその表現方法は多岐にわたる。

「NEW MOTION -Next to Japanese Animation-」のメインビジュアルとして近藤聡乃氏「月の花 vol.4 背後の気配」を採用いたしました。街中を彩るポスターやフラッグ、大型看板、ラッピングバスヘデザインされ、アニメーション2019を日本カラーに染めます。



「月の花 vol.4 背後の気配」



掲出イメージ

# Annecy 2019

## – Tribute to Japanese Animation –

### 文化庁メディア芸術祭とは

文化庁メディア芸術祭はアート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門において優れた作品を顕彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供するメディア芸術の総合フェスティバルです。平成9年度（1997年）の開催以来、高い芸術性と創造性をもつ優れたメディア芸術作品を顕彰するとともに、受賞作品の展示・上映や、シンポジウム等の関連イベントを実施する受賞作品展を開催しています。第22回は、世界102の国と地域から4,384点に及ぶ作品の応募がありました。文化庁メディア芸術祭は多様化する現代の表現を見据える国際的なフェスティバルへと成長を続けています。また、文化庁では、メディア芸術の創造とその発展を図ることを目的に、文化庁メディア芸術祭の受賞作品を国内外で広く紹介する多彩な事業を実施しています。海外・国内展開や創作活動支援等の関連事業を通じ、次代を見据えたフェスティバルを目指しています。

主催 文化庁メディア芸術祭実行委員会

### メディア芸術海外展開事業とは

文化庁では、優れたメディア芸術作品を紹介するため、海外のメディア芸術関連のフェスティバル・施設において、文化庁メディア芸術祭の受賞作品を中心とした企画展の開催やパッケージプログラムの上映、専門家によるプレゼンテーション、作家によるワークショップ等を実施しています。企画展では、キュレーターがテーマに基づいた作品選定を行い、現地参加先と共同で展覧会を開催。出展作家は現地に赴き、展示やプレゼンテーション、ワークショップなどを行います。これらの活動を通じて、作家や専門家による現地での交流を促し、国際的な「メディア芸術」への理解と評価向上、文化庁メディア芸術祭の周知と応募促進を行っています。日本トリビュートイヤーとなる2019年のアヌシー参加においては、メディア芸術祭受賞作品および受賞者、そして日本のメディア芸術の世界的な進出を狙い、積極的な発信をしていきます。

主催 文化庁

### Animation Tokyo とは

（東京発「クールジャパン」の推進 都内アニメーション産業の国際展開推進事業）  
東京都は、東京の中小企業振興の一環として、東京発「クールジャパン」を世界へ発信・浸透させ、都内アニメーション産業の振興を図るため、海外へのビジネス展開を志す東京のアニメーション制作会社等を対象に、海外展開に必要なスキル等を競うコンテストの開催や、国際アニメーション見本市MIFAへの出展等を支援しています。日本が名誉国となるアヌシー2019においては、出展やビジネスマッチング等に加え、これまでの参加事業者についても情報発信を行い、次世代を担う優れたアニメーション事業者の海外展開の促進を図ります。

主催 東京都

アヌシー国際アニメーション映画祭2019 公式コンペイン 日本作品  
Annecy International Animated Film Festival 2019  
List of the films in competition

今年の公式コンペティション長編部門8作品のうち、3作品が日本からの出品作品となりました。Contrechamp部門を含む長編部門全体では16作品のうち4作品を日本が占めます。

This year, in the feature films in Competition section, 3 out of 8 films are from Japan.

In the whole feature films section including Contrechamp, 4 out of 16 films are from Japan.

**長編部門 / Feature Films competition**

**【長編コンペティション部門/ Feature Films in competition】**

『きみと、波にのれたら』湯浅政明監督 / “Ride Your Wave” Masaaki YUASA

『バースデー・ワンダーランド』原恵一監督 / “The Wonderland” Keiichi HARA

『あした世界が終わるとしても』櫻木優平監督 / “The Relative Worlds” Yuhei SAKURAGI

**【Contrechamp部門 / Contrechamp】**

『海獣の子』渡辺歩監督 / “Children of the Sea” Ayumu WATANABE

**短編部門 / Short Films Competition**

**【短編コンペティション部門 / Short Films in Competition】**

『The Dawn of Ape』水江未来監督 / “The Dawn of Ape” Mirai MIZUE

**【Off-Limits部門/ Off-Limits Short Films in Competition】**

『Leaking Life』林俊作監督 / “Leaking Life” Shunsaku HAYASHI

**【学生部門 / Graduation Short Films in Competition】**

『くじらの湯』木山瑞嬉、東京芸術大学大学院映像研究科アニメーション専攻 / “Bath House of Whales” Mizuki KIYAMA, TOKYO UNIVERSITY OF THE ARTS – GRADUATE SCHOOL OF FILM AND NEW MEDIA

『何度でも忘れよう』しばたたかひろ、東京芸術大学大学院映像研究科アニメーション専攻 / “Keep Forgetting” Takahiro SHIBATA, TOKYO UNIVERSITY OF THE ARTS – GRADUATE SCHOOL OF FILM AND NEW MEDIA,

『THE HUNTER』ワーラ ヤリ、多摩美術大学 / “The Hunter” Jari VAARA, TAMA ART UNIVERSITY,

『Somewhere Soft』吉成慧恵、VOLDA大学（ノルウェー） / “Somewhere Soft” Satoe YOSHINARI, VOLDA UNIVERSITY COLLEGE,

**受託&TV部門 / Commissioned & TV Films**

**【TV部門/ TV Films in Competition】**

『恐竜少女ガウ子』しぎのあきら監督 / “Dino Girl Gauko ‘Dad’ s Secret’ ” Akira SHIGINO

**【受託作品部門/ Commissioned Films in Competition】**

『Powder “New Tribe” AC部』 / Powder “New Tribe” AC-bu

---

**スクリーニングイベント/ Screening Events**

『ちいさな英雄 カニとタマゴと透明人間』 / 【Modest Heroes】

- 「カニーニとカニーノ」米林宏昌監督 / “Kanini & Kanino” Hiromasa YONEBAYASHI

- 「サムライエッグ」百瀬義行監督 / “Life Ain’t Gonna Lose” Yoshiyuki MOMOSE

- 「透明人間」山下明彦監督 / “Invisible” by Akihiko YAMASHITA

『HUMAN LOST 人間失格』木崎文智監督 / “HUMAN LOST” Fuminori KIZAKI

**野外上映 / Open-air Screenings**

『メアリと魔女の花』米林宏昌監督 / “Mary and the Witch’s Flower” Hiromasa YONEBAYASHI

『インターステラ5555 : THE 5TORY OF THE 5ECRET 5TAR 5YSTEM』 / “Interstella 5555: The 5tory of the 5ecret 5tar 5ystem”

お問い合わせ先 / Contact to

特定非営利活動法人映像産業振興機構 / VIPO

内藤恵 / Megumi NAITO : [megumi.naito@vipo.or.jp](mailto:megumi.naito@vipo.or.jp) 田吹一恵 / Kazue TABUKI : [kazue.tabuki@vipo.or.jp](mailto:kazue.tabuki@vipo.or.jp) [Tel:03-3543-7531](tel:03-3543-7531)